



① ~~XXXXXXXXXX~~

平文 普通電報

宛 局長

中部復員連絡局長(六隊)

當部管理臺灣軍殘務整理は十二日完了、十四日夫々

人員を解散せしむ

(終)

〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆
〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆	〆

部附

(第二復員局資料付)

昭三六

九

一三

九

普通電報

大安丸

大竹連

總務部、興運

(運) 第二番艦(〇六二八三〇)

一、九月九日土崎大竹著ノ予定

二、人員搭載地名、月日、回レンバンレ八月二十四日

三、同地発港八月二十五日

四、搭載人員数 陸軍軍人三二二名、軍医二〇八名、計五四〇名

五、搭載人員中患者七二名(獨歩患者)

六、要入院患者

(一) 急性胃炎、挫傷症(獨歩)

(二) 面側下顎<sup>ア</sup>急性化膿性<sup>ケ</sup>ケシシウ<sup>ク</sup>一(獨歩)

(三) 病名未定 熱発生患者(要擔患者)二

七、傳染病患者 又ハ容疑者 ナシ

八、燃料消費額報告

百七十四「シカポール」石炭 三五五  
百七十四「ハレンパン」石炭 二〇二

氷川丸船長

博多運航部

復總務部、佐復、博多援護局

第一番覽 (七百十六時五分)

七百七時五分 胡盧衝發 十時七時博多著ノ予定

一、收容人員

長春、吉林、鞍山、西安、奉天地区ヨリ引揚 一六六名

(男 七五、女 八六七) 内患者 七八〇

博多著時 真水保有量 二〇〇噸、要補給量 一〇〇噸

手配アリ度

終

終

0528



部長

(第二復員局より廻付)

至急電報

葡 總務部、佐上連、

報 日昌丸 昭二、九、二三、  
報 佐復、佐運管會

第一番電(一八、四四〇〇)

十六日七時十五分 胡蘆島発、十九日八時 佐世保着の豫定

哈爾濱第六七大隊邦人二二六五名、男六三三、女七六九、小供八七四、

地方別 北海道 七九、東北 二五六、関東 二八七、中部 一八七、北陸 三三五、

近畿 一四四、中國 二二一、四國 九三、九州 七六一、

患者 八〇名、担送患者 五、傳染病患者 五

福 五

看 總務部、佐復、鹿運、 報 横復

(運) 第一番電(二六、一九〇〇)

第六回神繩輸送十六日十時神繩発以後十台七時入港

便乗者 二二三名

0520

燃料搭載報告

(1) 遺骨 六六、(4) 鹿見崎室津丸、(1) (D)、(1) 七五〇

⑧ 鹿見崎上連

⑦ 佐復

⑨ 二復 總務部

第六六番電 (一四一七三〇)

九月十四日 歸還人員報告 十四時

L.S.T (4036) 石垣島より 陸軍七名 般民九八名 計一〇五名

(終)

(終)

0531

部附

部員

總	官	副	官	文	書	人	事	總	務	復	員	資	料	課	業	務	課	經	理	部	法	務	部	迎	接	部	整	理	部	留	留	一	等	官	外	務	省	厚	生	省
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(第二復員局ヨリ廻付)

至急電報

總務部長、佐復長

第七三番電 (一一、一九〇〇)

傳多上陸地

聯合軍船舶ニ依ル歸還軍人報告

船名	日	日	計	艦	軍	民	部
米 V〇七六(運)	九月二十八日	十月八日	三三六八	一五八	三二一〇	ナシ	ナシ
ク V〇七四(運)	九月二十七日	十月九日	三五三九	二九六	三二四三	ナシ	ナシ

胡盧島派遣隊長

總務部、傳多、佐復、胡盧島特諭

第八番電 (九、一七三〇)

十月九日

VH一、二、九日 出港船 佐世保行

0532



埠名	保	世	佐	新	入港地
V 一〇	〇 九 四	〇 八 一	〇 三 四	〇 一 〇	新興丸 船名
三四一	一一八	一一九	二一〇	一一八	乗船人員
二五〇			五五	六八二	(陸軍)
十二日	十三日	十三日	十三日	十五日	日
十二時	八時	八時	七時	八時	時
					摘要

⑤ 榎

⑥ 總務部、吳復、大竹上連、佐復

⑦ 第六番艦(四、〇六三五)

一、 榎四日十九時三十分 大竹ニ向ケ「マニラ」登十日 十三時着予定

二、 収容員数 陸軍 二七七名、海軍 二三名 計 三〇〇名

作訳 現成部隊ニシテ各府縣一〇名平均

三、 要入院患者 ナシ

(終)

(終)

0533

部  
官

4

部  
官

(第二復員局ヨリ廻付)

至急電報

署 二復總務部長

第八番電 (二一七四三)

宛 吉田外務大臣

送 胡盧島副領事

本月二十日 収容所ニアル邦人約三万輸送途中ニアル者約五

千 合計約三万五千名アリ

右ノ内 本月二十日頃乗艦予定ノ奉天連絡總所職員部隊

ヲ最後トシテ 本年度在滿邦人ノ計畫送還ハ完了ノ見

込ミ 右ノ他

(1) 中央軍地區留用技術員 約四万 其ノ他 一万

(2) 中央地區殘留者約五万 合計約一〇万名アリ、内

約三分ノ一ハ 今後留用解除若シクハ引出シノ可能性

アルニ付 是等ハ一應奉天ニ集中セシメ一定數ニ達スル

ヲ待テ 隨時胡盧島、秦皇島 太沽等ヨリ送還ノ方

昭二ノ一〇 一五  
海三六

0534

茲ヲ採ル様當地米軍ニ申込ミタル處 政府ヨリモ  
ツカアサー」司令部ニ同様ノ申込リア度

三、胡盧島米軍ハ十一月十四日迄駐屯シ今後ハ移動送  
送還(チーム)トシテ中國各地殘存邦人ノ還送ニ當ル越  
ニ付小宮ハ本部隊ニ雇員トシテ採用方選動中ナル處  
米軍司令部ノ打合せニ依レバ日本政府ヨリ「マ」司令  
部ニ申請スレバ許可セラル見込マル由ニ付小宮並ニ  
助手トシテ 笛木三郎ノ採用方至急御申入レ願ヒ度  
四、石井書記官ハ奉天ニテ越冬スル筈ニシテ委細ハ近  
ク歸國スル野沢リジン 矢富技手ヨリ聴取ヲ乞フ

(終)

0535

(第二復員局より廻付)

至急電報

昭二一、一〇、二五、石  
胡盧島派遣隊長

① 總務部、博運、佐復

第八番電 (一六、一〇〇)

十月十六日 現在

一、丁二七三、葛、V二二、榎、Q二四、Q六三、初櫻、V九三

初梅、柿、計一〇隻

二、本日出港予定船

雄竹、萩、海一〇六、攝津丸、穩岐、Q五七、計六隻

三、十五日出港船

(1) 佐世保行 Q七〇(一二四〇) 十九日十時

Q七九(一二四一) 十九日八時

Q三(一二三七) 内陸軍五〇 十九日十二時

(2) 博多行 V H三(一二七七) 内陸軍一四一 十九日十六時

V九六(三五五三) 十九日十二時

終

⑧ 桐

⑨ 覺信課、二復總務部長、横領、横運

第一一番電（一八 一五一三）

十四時四十五分「ガム」発 二十日 十四時、浦賀著予失

便乗者 八〇名 陸軍 三三名、海軍 三八八名、軍属

八一各、要入院患者 九四名 内要擔 一三名ヲ含ム

一 浦賀ニ於ケル主要修理事項左ノ通

① 蒸化器 シヤマイタ、② 冷却機、③ ゲーゼル発電機ニ台

右ノ内①ノ一台ヲ除キ是非共修理ヲ要ス

二 患者ハ状況ニ鑑ミ入港後速カニ揚陸方ヲ配ヲ得度

（終）

第二復員局ヨリ廻付)

普通電報

昭二、一〇、二五、了  
若鷹

第二復員總務部

第十方面艦隊 南西方面行動艦船

第二〇番電 (二一四〇九)

二十日「バレンバン」若「バレンバン」ヨリ人員輸送完了(陸軍七四八名)

當地兵軍ノ指六ヨリ二十日「バレンバン」發二十六日「バレンバン」

著七四八名收容ノ上「シンガポール」同航ノ予定、尔後行動未定

燃料搭載報告(十月首、四「バレンバン」、八一三三「バレンバン」)

第二復員電信課

第三番電 (一八三〇〇)

宛 第二復員總務部、横復、横運、浦賀上陸地出張所、通報 桐

一、十月八時「バレンバン」發 二十日八時浦賀著予定

二、ガールズニ於ケル收容数 陸軍九六二内將校六、海軍一三三、邦人

(沖繩人)一八五 計四一四



三、ガム、コロン、於ては計收容員數、移身一八一六ニシテ看覺隔狀  
 陸軍一三三、海軍一六九、海軍軍屬一四、邦人一八五計五〇〇  
 遺骨八柱

四、入院患者ナシ

④ 杉

⑤ 二復總務課

第一、海軍一〇一

一、十日十七時、コロン、三何ヶカハ、陸一七三、五時、セイパン、看予定

二、コロン於ケル搭載人員數、陸軍一三六、海軍一六、海軍軍屬一四、計一八六

三、浦賀、出港時、衝衝ヨリ石版、推延、踏翼一枚、八翼、端ヨリ約四〇種ヲ弯曲シ現

在、航行ニハ支障ナキモノニ節以上ノ同軟ニテハ相當振動ヲ生ズ、浦賀、入港時、入渠

ノ上、換裝方取計ヲ得度

⑥ ボゴタ丸

⑦ 二復總務部、吳、横復

第三番電 (一四、二〇、四五)

一、首回レバン、著人員收容、九日、翌十日、シカホ、止著補給、十日、ニ所、分、大竹ニ

向ケ、シカホ、止著、ニテ、大竹、著、予定

二、收容人員、コロン、陸軍一三三、八名、海軍一三、三名、計一三三、一名、入院患者

三名、傳染病患者、ナシ

(終)

0540 0539



軍令部	海軍省	氣象	測量	武官府	部附	軍調	參航	陸大	史編	報道	中調	部三		部二		部一		務總		總長
												11	10	7	6	5	3	2	1	
大東亞	外務省	多研	兵行政	機本	航本	教總	防總	省軍陸												
								醫事	衛生	建築	衣糧	主計	交通	燃料	戰備	馬政	防衛	兵備	兵務	軍務

大壽	十一月四日	二十日	間出	頭出	来儿	史實調査部宛	發信者	長崎地方	甚諾部	秘電報	十月二日	十月七日	十月二日	十月七日	十月二日	十月七日	十月二日	十月七日
										電第	號	提出	受付	著	發	提出	受付	著

番號	總務課	主任	課	電報班
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢
點歸	主任者	點歸	主任者	點檢

班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付
班長	點檢者	翻譯者	受付

0541





三、ガムに於ける補給量 10、22、24、26、糧食若干

四、主たる修理箇所

- ① 機械室主隔壁辨接手漏洩
- ② 内火察電機三番ポストに軸裏金焼損
- ③ 海水海管漏洩三箇

④ 海 三七

⑤ 總務部 名簿 一復 總務部

⑥ 第一番電 (二六、二五、二〇)

在上海日本連絡班の調査に依り、  
 在上海(中支方面)に於ける殘留邦人(軍人  
 及屬を含む)の存在を急遽送る要するもの一五  
 〇名を引續き歸還を要する急送のもの一五〇  
 名

検閲者

陸

大谷

発信地

札幌

至多の平文

電報譯

一

月

三

日

午

前

後

二

時

四

分

五

分

著

一

〇

四

〇

ト

又

又

又

又

又

又

又

又

又

又

又

又

又

又

史実部長宛

発信者

星

第 號

十一月十三日頃都合し止むを得ずは

七日行く

(終)

取 番  
扱 號

0545

厚生省	外務省	内務省	三復員局	同復員局	省并業部	整理部	連防部	去調部	天調部	農務部	資復部	總務部	人事課	大書課	局長	局長
-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----

(第二復員局引廻付)

普通電報

⑤ 總務部、他復

第五番電 (三五〇八三〇)

⑥ 胡蘆島派遣隊長

昭三六、一〇、三一、二

十月二十五日 八時 (環社)

海七八、栗島、樫、長連丸、D五七、海七五、V九九、Q三六

海一三四、Q六九、輪一西七、計一〇隻

本日 出港予定船 S B 六〇九、Q四四、Q八七、計三隻

三、十四日 出港船

博多行 氷川丸 一三三三名 日艦軍 一三二

V H 三號 七七九名 日艦軍 八六

豐仙丸 一七一八名

二十七日 十二時 氷川丸、二十八日 八時 V H 三號、廿七日 廿時 豐仙丸 著

⑦ 海 三六

⑧ 總務部、積復

0546

第九番覽 (三八一三五)

一、二十八日八時浦賀着

二、行劔甲常用速力一三節

三、收卷人員 二三五名

四、艦軍 二九 (將校 三、准尉 二、下士官 兵 二四)

五、海軍 二六 (士官 三〇、准士官 五、下士官 兵 六六、軍屬 二五)

六、遺骨 二三

七、患者 六 (以傳八院患者 四、傳染病患者 二)

(終)

0547

普通電報

葛城

④ 二復總務部

⑤ 横濱、浦賀保護局

(運) 第三六番電 (八二九二二三九)

一、收容總員數 「クダン」ニ二三三、クニニツク」六三〇〇、香港 五七

計 八五八九

二、陸軍 八五八四、海軍 三、民間 二、

三、要入曉慮者 陸軍のみ一七四(外要旦六)

四、南西方面残留者概數(十月二十日現在) 陸軍 九一八三

海軍 一三三〇九、民間 二八三、

五、主要部隊名

近衛第二師團司令部 及其の隷下部隊(通稱 義部隊) 以下

第五聯隊、第七聯隊、第十一聯隊、第四十二兵站警備隊、陸上

勤務隊八十五中隊、同第百中隊、第十特別ウシエ隊、第四特設ケウ

コウ隊、第四特設工作隊、第五特設ケウコウ隊、第七特設工務大隊

第十二兵站病院 外六部隊

(終)

0548



⑧ 棒

⑨ 補復

(運) 第一〇番電 (二五、四五〇)

宛 二復總務部、横復

通 敬 輪 一 九 海 一 二 六

一、二十二日十四時三十分浦賀に向け「ガム」系

六「ソイパ」回夕「カラス」向け便乗者計二四、「ガム」に陽陸落、外地何

け便乗者四〇〇、外訳去者五五 三、陸軍七、下士官兵一三三)

悉者二五を含む

三、浦賀歸投後左の整備を要す(現状)

ハ、ガムセル電機一基總分解検査(細圧下降、ポイントの流北あり)目下使用不能

時数 四八〇時間) (四)「ソイパ」電機機非常装置調整及び注入計等修理

(規定回鼓より相當早く作動目下不装置の働かざる状態と存し運転しあり

細圧の四附近) ハ、ハ項目は浦賀「ソック」より五員派遣 協力

希望す、此の場合約七日間にて完成予定

⑩

0549